

第7常置委員会報告

—日本学術会議と国際対応—

平成9年6月20日

日本学術会議
第7常置委員会

この報告書は、第16期日本学術会議第7常置委員会の審議結果を取りまとめて発表するものである。

第7常置委員会

- 委員長 井口 洋夫 (第4部会員・岡崎国立共同研究機構分子科学研究所研究顧問
・分子科学研究所名誉教授・東京大学名誉教授)
- 幹事 河野 博忠 (第3部会員・常磐大学国際学部教授・筑波大学名誉教授)
高倉 直 (第6部会員・長崎大学教養部教授)
- 委員 岩崎 卓也 (第1部会員・東京家政学院大学人文学部教授)
綿貫 譲治 (第1部会員・AASSREC分科会委員長
・上智大学外国語学部教授)
- 宇野 重昭 (第2部会員・成蹊大学長)
- 柏崎 利之輔 (第3部会員・ISSC/IFSSO分科会委員長
・早稲田大学政治経済学部教授)
- 田中 啓一 (第3部会員・地球環境研究連絡委員会 HDP 専門委員会委員長
・日本大学経済学部教授)
- 榎根 勇 (第4部会員・地球環境研究連絡委員会 IGBP 専門委員会委員長
・愛知大学現代中国学部教授・筑波大学名誉教授)
- 土居 範久 (第4部会員・複合領域研究連絡委員会運営協議会幹事
・慶應義塾大学理工学部教授)
- 岩田 一明 (第5部会員・国立高知工業高等専門学校長・大阪大学名誉教授
・神戸大学名誉教授)
- 大橋 秀雄 (第5部会員・ICSU分科会委員長・工学院大学長
・東京大学名誉教授)
- 本多 健一 (第5部会員・基礎工学研究連絡委員会 WFEO 専門委員会委員長
・東京工芸大学長・東京大学名誉教授)
- 高倉 公朋 (第7部会員・東京女子医科大学長・東京大学名誉教授)
- 三輪 史朗 (第7部会員・遺伝医学研究連絡委員会 CIOMS 専門委員会委員長
・(財)沖中記念成人病研究所所長)
- 大家 寛 (国際学術協力事業研究連絡委員会委員長・東北大学理学部教授)

1. 序論

学術研究はその分野によって濃淡があるが、その国際対応は加速度的に重要度を増している。我が国の科学者の内外に対する代表機関である日本学術会議においては、第16期より新しい常置委員会—第7常置委員会（以下「第7常置」と略記。）—を発足させ、多面的な国際対応の総合的運営を目指すこととなった。本報告は国際対応の目的や役割をまとめ、それに対する日本学術会議内外からの意見を集約することで、日本学術会議としての国際対応の立場の構築を目指すものである。

2. 国際対応の目標

国際対応は、これを通して国際間の学術に関する諸問題の理解を深めるとともに、学術の最先端・最前線を押し拡げて、世界の学術の発展に貢献することにあると考えられる。それには、次のような具体的項目の企画並びに支援を挙げることができる。

- 1) 学術交流
- 2) 学術業績の発信及び受信
- 3) 国際間の共同研究及び共同事業の推進
- 4) 国際会議の開催による共通認識の確立と意見調整
- 5) 国際機関・団体及び国際会議への研究者の派遣

もちろん、これらに対しては既に日本学術会議とともに国の機関、あるいは関連学術団体において長期にわたる実績が積み上げられた項目も多々あるとともに、また、今後積極的に推進しなくてはならない項目も少なくない。特に日本学術会議としては、学術団体が行っている多面的な国際対応の強力な支援が求められている。これらの現状を定量的に解析し、将来の発展に備えるのが第7常置の目標である。

3. 日本学術会議と国際学術団体との関係

現在、学問分野それぞれに対応する国際学術団体がおおむね存在している。その歴史、活動状況、日本側の対応は学問分野によって事情は異なっている。国際学術団体と日本学術会議との関係は、歴史的には学術会議の前身である学術研究会議が ICSU の前身である **International Research Council** への対応までさかのぼる。日本学術会議は代表機関として学術に関する国際団体に加入してきており、現在、47の国際学術団体に加入している（別紙1、以下「加入47団体」と略記。）。これら加入団体の活動状況は「国際対応の手引き」として冊子を作成発刊した。この手引きには、国際学術協力事業7件も併せ編集した。さらに、毎年その活動状況を更新印刷し、いわゆる“YEAR BOOK”としての役割を果たすこととした（更に新しく一団体（COSTED-IBN）の加入を手続き中である。）。日本学術会議は、加入47団体の分担金を支払い、また、総会には代表派遣を行っている。

第7常置委員会では、加入47団体への対応状況について対応窓口となる研究連絡委員会（以下「対応研連」と略記。）を対象としてアンケートを実施し（付録1）、さらに、平成8年9月26日の委員会に対応研連の代表者に参加していただき、意見交換を行った。未加入団体のアンケート（付録2）も含め、本委員会に提起された問題点は別紙2のとおりであり、今後の本委員会の審議並びに運営の参考とした。

4. 学術会議が未加入の国際学術団体の現況

国際間での学術研究及びその共同体制は年とともに盛んになりつつあり、その結果は各

分野における国際学術団体の著しい増加に反映している。1995年5月に180研究連絡委員会を通して実施したアンケート調査から、学協会又は研究連絡委員会等が対応している国際学術団体は440以上にものぼる。付録2にアンケートにより回答を得た国際学術団体名を示したので、第7常置の役割について会員各位のご意見を求める素材としたい。もちろん、その役割はごく限定された二国間の共同研究/協力体制を目的としたものから、全世界的規模での研究協力を目的とした学術団体まで多岐にわたっている。特に近年のアジア・太平洋地域の学術交流のめざましい進展は、この未加入団体の分布が如実に示している（付録2に「アジア」又は「太平洋」の文字が団体名に含まれる一覧を添付した）。これら学術団体について、学術会議からは分担金の支払いはなされていないが、総会への研究者の派遣費用については学術会議の代表派遣予算の第3区分の中で一部実現されている（別紙3に代表派遣状況を示した）。

日本学術会議は、「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」に国際学術団体への加入について規定している。第7常置としては、日本学術会議の国際対応をより積極的に推進するため、国際学術団体への加入条件を明確にするための作業を行った。すなわち、国内学術団体と国際学術団体との関係を6種類（A-F）に分類（別紙4）し、そのうちAとBのカテゴリーが加入対象となり得るとの意見を集約した。また、C-Fについても、更に検討を重ねて、第7常置としての方針を検討することとした。

A及びBについて具体例を示し、加盟条件理解の一助としたい。

Aとしては、国際レベルのIUPAC（国際純正・応用化学連合）を例示として説明する。学会レベルとしては、日本化学会（会員39,365）、高分子学会（会員13,006）、日本分析化学会（会員8,657）等約30の学術団体が構成するグループである。これが連合体として化学研究連絡委員会（6専門委員会から成る）を構成している。化学研究連絡委員会が日本学術会議を通じてIUPACに加盟している。

Bの具体例としては、日本工学会がある。日本工学会には応用物理学会（会員22,920）、日本金属学会（会員11,318）、精密工学会（会員7,082）、石油学会（会員5,241）等94学協会が学術団体として参加している。すなわち、日本工学会は総合学会であり、それが日本学術会議基礎工学研究連絡委員会WFEO専門委員会を通してWFEO/FMOI（世界工学団体連盟）に加盟している。（会員数等は平成9年5月現在）

5. 日本学術会議と国際会議

国際対応の大きな柱に国際会議がある。分野を同じくする研究者が一同に会して、学術の最前線を討論する場合は、情報システムが著しく発達し、迅速な情報発信・受信が可能となった現在においても、国際間での共通認識の確立と意見調達に極めて有効である。日本国内において開催される国際会議に対する公的な支援補助事業としては、日本学術会議の国際学術交流事業共同主催国際会議、文部省の国際シンポジウム開催経費、研究成果公開促進費「学会による国際会議開催費補助事業」、日本学術振興会の国際研究集会事業があり、会議主催者及び会議規模により補助対象が異なるように運営されている。この中で日本学術会議では、平成8年度においては6件の国際会議を学術団体と共同主催していたが、平成9年度からは8件の開催が認められた。また、学術会議が未加入の国際学術団体が母体機関となる国際会議の割合が高まっている（別紙5）。なお、参考までに日本学術会議が共同主催する国際会議の共催申請から会議実施までの流れを別紙6に示した。

今後、日本学術会議の国際学術交流事業、共同主催国際会議について目標を明確にし、

日本学術会議に適した事業として、発展させる必要がある。

6. 日本学術会議と国際学術協力事業

国際学術協力事業に対しては、国際学術連合（ICSU）等の学術団体、ユネスコ、世界気象機関等の国際機関や、それらの合同組織を通じ、世界史に刻まれる重要な研究課題について、国際的に参加実施することが不可欠である。日本学術会議は国際学術協力事業の実施に際して、我が国の対応委員会として、国内・国際レベルでの研究者間の計画調整、観測データも含めた情報交換などの役割を担っている。しかし、国内における分担金の負担や研究支援体制はプロジェクトごとに異なっており、プロジェクトによっては必ずしも国際社会の期待に十分応えているとはいえない状況にある。具体的には、計画立案段階からの日本からの積極的な参加、国際的な討議の場を通じての検討、我が国の戦略的視点の確立、国際的なリーダーシップの発揮、国内の長期的な研究支援体制とその財政基盤の確立、研究成果の国際社会への還元等が問題点として指摘されている。

国際学術協力事業は、CERN の巨大加速器のように研究拠点が絞られるものから、地球環境研究のように国際的な政策立案の必要性を背景にフィールドワークによりグローバルな観測データをネットワークにより収集し解析するものまで、研究目的、実施方法は様々である。このため、省庁の枠を越えた研究支援体制及びそのための財政基盤を確立することが緊急に必要である。さらに日本学術会議では、地球規模で取り組むべき課題に対し、我が国が果たす貢献についての国際社会からの期待に対応すべく活動方針の検討が望まれる。

7. 国際対応の将来

日本学術会議としては限定された予算の中で、国際対応の努力を続けているが、国際対応の拡大に到底追いつける状況にない。しかし、日本の学術的ポテンシャルを十分に反映した学術研究及び体制を国際的に示すことが求められている。それには基本的に日本学術会議が持つ国際対応の情報の発信及び受信基地としての機能を保有することが強く求められている。もちろん、国家機関、民間団体など多数の組織が国際対応に関わっている現在、日本学術会議としての役割を明確にしておく必要もある。いずれにせよ、情報ネットワークの整備が前提となろう。

ところで、情報ネットワークの整備状況を見てみると、日本学術会議のホームページを作成し、勧告、要望及び会長談話の内容、シンポジウム、講演会等の日程表等の公開が進められている。しかし、国際対応の観点から見れば、共同主催国際会議の案内・募集等が記載されているものの、英文での公表は一部に限られており、今後は、より一層の強化を図る必要がある。

日本学術会議としては、国際対応を推進するに当たって、各国の文化、言語を尊重することは当然である、しかし、一方避けて通れないのは世界共通語が英語であることに起因する日本の不利な点である。そのためには、語学教育の徹底を図り情報発信基地の確立が強く求められる。

1) 活動成果の世界への発信

学術会議より報告される多方面の成果を国内外から自由に取り出せるシステムを構築する必要がある。

2) 加入47団体について情報提供

特に加入47団体の活動状況については常に新しい情報が取り出せるよう、新情報の収集及び更新は国際対応に不可欠な作業である。

3) 180研連についての活動状況の掌握

研連活動の再構築が叫ばれている折りに、その活動情報を集約して衆知できるシステムを築くことは、研連の充実に役立つであろう。特に国際対応の情報は日本学術会議の国際対応を内外に示すのに不可欠である。

4) 出版関係

情報発信の媒体としての出版物の発行は重要な方法である。特に一次情報の提供には国際的に流通する学術誌が求められる。その場合は、投稿が流通に良い（よい多くの研究者に読まれる）雑誌に集中する傾向が強く、国際的流通を求める日本の学術誌は危機の状況にあるとの認識を持っている。この解決には日本学術会議が他の行政機関とも協議しつつ、日本の学術団体と密接な協力のもとに抜本的手段を講ずる必要があるであろう。

8. おわりに

第7常置に課せられた役割は、日本学術会議としての国際対応の方針を打建てることにあると考えている。ここにまとめた各項目は、歴代の日本学術会議並びに研連の努力によって築かれた国際対応の方策に第16期第7常置での作業を集約したものである。これを委員会活動の出発点として当面する問題点を一つ一つ検討し、その解をみつける努力を重ねている。是非とも関連の機関、団体並びに各個人の方々から積極的な意見を受けて第7常置の活動を実のあるものになりたいと考えている。

日本学術会議が加入している国際学術団体

	対応研連等	団体名	団体名 A B
7 常置	ICSU分科会 ISSC/IPSSO分科会 AASSREC 分科会	国際学術連合 国際社会科学団体連盟 アジア社会科学研究協議会連盟	ICSU IPSSO AASSREC
副会長	生物科学 化学 生化学 情報学：学術データ情報 情報学：学術文献情報 太平洋学術 生体機能応用技術 国際学術協力事業：WCRP 海洋科学	国際生物科学連合 国際純正・応用化学連合 国際生化学・分子生物学連合 科学技術データ委員会 国際ドキュメンテーション連盟 太平洋学術協会 バイオテクノロジー国際科学委員会 気候変動国際協同研究計画 海洋研究科学委員会	IUBS IUPAC IUBMB CODATA FID PSA COBIOTEC WCRP SCOR
1 部	歴史学 東洋学	国際歴史学委員会 国際オリエント・アジア研究連合	CISH UIEOA
2 部	法政学術，比較法学	法学国際協会	IALS
3 部	第3部 経済史	国際経済学協会 国際経済史協会	IEA AIHE
4 部	数学 物理学：IUPAP 天文学 生体環境生物：SCOPE 地質学 鉱物学 第四紀 地球化学・宇宙化学 地理学 地図学 地球物理学 地球電磁気学， 電波科学：SCOSTEP 科学史，科学基礎論 結晶学 生物物理 宇宙空間 極地 電波科学	国際数学連合 国際純粋・応用物理学連合 国際天文学連合 環境問題科学委員会 国際地質科学連合 国際鉱物学連合 国際第四紀学連合 国際地球化学・宇宙化学協会 国際地理学連合 国際地図学協会 国際測地学・地球物理学連合 太陽地球系物理学科学委員会 国際科学史・科学基礎論連合 国際結晶学連合 国際純粋・応用生物物理学連合 宇宙空間研究委員会 南極研究科学委員会 国際電波科学連合	IMU IUPAP IAU SCOPE IUGS IMA INQUA IAGC IGU ICA IUGG SCOSTEP IUHPS IUCr IUPAB COSPAR SCAR URSI
5 部	基礎工学：WFEO 応用物理学：光学 自動制御 力学：IUATM	世界工学団体連盟 国際光学委員会 国際自動制御連盟 国際理論・応用力学連合	WFEO ICO IFAC IUTAM
6 部	栄養・食糧科学 微生物学 農業土木	国際栄養科学連合 国際微生物学連合 国際農業工学会	IUNS IUMS CIGR
7 部	生理学 薬理学 実験動物 遺伝医学：CIOMS 癌	国際生理科学連合 国際薬理学連合 国際実験動物科学会議 国際医学団体協議会 国際対癌連合	IUPS IUPHAR ICLAS CIOMS UICC

加入47団体の対応研連より寄せられたご意見

- ・国内で開催される国際シンポジウム等の支援
 - 日本学術会議との主催/共催の取り扱い
 - 国際学術団体の総会の開催に係る経費問題
 - 円高による海外からの参加費用の高騰
 - 発展途上国からの若手研究者も含めた参加補助（交通、滞在費、学術会議としての宿泊施設）
 - 会議の規模、主催者、目的による様々な支援体制（研究者が研究に専念できる方策）
- ・国際学術団体への加入手続きの迅速化
- ・国際学術団体の活動への参加支援
 - 総会での議決数に見合った旅費支給
 - 執行、部会等の各種活動への支援
 - 役員活動の支援策
 - 会員・研連委員外の若手研究者の派遣支援
- ・国際交流の活発化に資する諸規制の緩和
- ・National Report作成等の国際対応のための国内活動経費の支援
- ・毎年負担する通常の分担金以外の臨時負担への対応
- ・アジア等の発展途上国での会議開催や学術支援及びそれに対する日本人研究者の派遣
- ・共同プロジェクトを長期的に支援する体制（財政基盤も含め）
- ・発展途上国の研究者の国際共同研究への参加支援や日本留学後のフォローアップ
- ・国際団体及び国際共同事業の事務局の受入及びその支援体制

未加入の国際学術団体のアンケートにより寄せられたご意見

（会議参加支援、国内外での国際会議・シンポジウムの支援は上記と同様）

- ・大学及び研究所の活動に比較し、学会内の委員会が対応している活動は公的な支援が弱い。
- ・国際学術団体を自ら設立する際の支援が無い。
- ・未加入の国際学術団体の加入申請に必要な条件や規則を明確に知らせて欲しい。
- ・学術会議が加入している国際団体について学問領域間のバランス
- ・国際対応として、どのような活動に重点を移すのか。
 - 国際学術団体の活動内容についての公示、情報センター
 - アジア等の地域団体の重要性
 - 諸外国のアカデミー等との関係強化について
- ・未加入団体についても分担金負担の公的支援
- ・公的支援だけでなく、民間支援を有効に活用できるシステムの必要性

年別代表派遣実績

アンケート集計(改訂版)

		年(西暦)													
		1989	90	91	92	93	94	95							
合計		70	70	73	73	77	73	79							
●: 日本開催		10	20	14	11	10	17	9							
○: 第1区分		5	4	4	4	8	5	7							
△: 第2区分		55	46	55	58	59	51	63							
第3区分									集計期間	会議数	人数	会議数	人数	人数小計	3区分相当
									総会(1区分)	運営(2区分)	1+2区分	3区分			
ICSU	国際学術連合		○			○			'90-94	2	2	4	4	6	2
IFSSO	国際社会科学団体連盟	△	△	○		○	△	○	'91-93	2	2	2	2	4	
AASSREC	アジア社会科学研究協議会連盟	○		○		●		○	'91-94	2	5	3	9	14	
IUBS	国際生物科学連合			○			○		'92-94	1	2	10	10	12	2
IUPAC	国際純正・応用化学連合	○	○	○		○		○	'94	1	35	1	7	42	
IUBMB	国際生化学・分子生物学連合			○					'91-94	2	6			6	
CODATA	科学技術ネットワーク委員会		○		○		○	△	'91-95	2	2	16	18	20	50
FID	国際フロンティア連盟		○		○	△	●	△	'90-94	3	9	12	18	27	15
PSA	太平洋学術協会			○		●	△	△	'89-94	3	7	6	11	18	
COBLOTREC	バイオテクノロジー-国際科学委員会							○	'87-94	3	3	6	6	9	
WCRP	気候変動国際協同研究計画		△	△	△	△		△	'94			1	2	2	20
SCOR	海洋研究科学委員会		○		○	△	○		'90-94	3	5	2	2	7	45
CISH	国際歴史学委員会	○	○		○			○	'90-94	2	4	3	3	7	
IUGAS	国際リフト・アジア研究連合								'90-95	2	2	2	1	3	
IALS	法学国際協会														
IEA	国際経済学協会	○			○				'92-94	1	3	4	4	7	3
AIHE	国際経済史協会		○		△		○								
IMU	国際数学連合		●				○	△	'90-94	2	10	7	1	11	2
IUPAP	国際純粋・応用物理学連合		○			●		△	'93-95	1	29	3	3	32	
IAU	国際天文学連合			○			○		'90-94	2	2			2	
ICLAS	国際実験動物科学会議			○		○									
SCOPE	環境問題科学委員会			○		2△			'90-94	1	3	2	3	6	7
IUGS	国際地質科学連合	○			●				'89-95	2	14	9	9	23	14
IMA	国際鉱物学連合		○				○		'90-94	2	8	6	6	14	
INQUA	国際第四紀学連合			○				○	'91-94	1	1	0	0	1	9
IAGC	国際地球化学・宇宙化学協会	○							'92-94	1	2	2	4	6	15
IGU	国際地理学連合				○		○		'88-94	2	2	3	3	5	10数名
ICA	国際地図学協会			○			△	○	'91-95	1	1	4	4	5	5
IUGG	国際測地学・地球物理学連合			○				○	'91-94	1	15	7	17	32	8
SCOSTEP	太陽地球間物理学科学委員会	△	○	△	○	△		○	'90-94	2	6	10	10	16	22
IUHPS	国際科学史・科学基礎論連合	○		○		○			'92-94	1	6	2	2	8	9
IUCr	国際結晶学連合		○			○			'92-94	1	4	3	3	7	12
IUPAB	国際純粋・応用生物物理学連合		○						'92-95	1	3	3	3	6	
COSPAR	宇宙空間研連		○		○		○		'90-94	3	3	8	8	11	63
SCAR	南極研究科学委員会		○		○		○		'88-94	4	8	1	1	9	約160
URSI	国際電波科学連合		○												
WFEO	世界工学団体連盟	○		○		○	△	○	'89-94	3	5	6	6	11	15
ICO	国際光学委員会		○			○			'90-94	2	9	5	5	14	6
IFAC	国際自動制御連盟		○			○	△	△	'93-95	1	3	2	2	5	10
IUTAM	国際理論・応用力学連合				○		○		'89-94	3	12	7	7	19	約30
IUNS	国際栄養科学連合	○							'91-94	1	3	3	3	6	10
IUMS	国際微生物学連合		●				○		'90-94	2	8	5	5	13	
IUPS	国際生理科学連合	○				○			'92-94	1	7	5	5	12	
IUPHAR	国際薬理学連合		○				○		'94	1	8			8	
CIOMS	国際医学団体協議会		○			○			'90-94	2	2	2	2	4	
UICC	国際対癌連合		○				○								
IGBP	地球圏-生物圏国際協同研究計画	2△	△		△	△			'92-94	3	3	3	3	6	16
ISSC	国際社会科学協議会		○	△	○	△	○	△							
HDP	地球環境変化の人間的次元の研究計画			△	△				'92-94	3	3	3	3	6	5
IGCP	国際地質対比計画								'92-94	5	36	9	13	49	40
DELPA	国際リソスフェア探査開発計画	△	△												
STEP	太陽地球系エネルギー-国際協同研究計画			△	△	△	△	△	'91-95			5	20	20	

●総会の日本での開催 ○総会への出席 △運営・執行委員会への出席

95年7月17日現在

学術会議が共同主催した国際会議(母体機関)

	対応研連	団体名	団体名AB	76-84年	85-97年
7 常置	ICSU分科会	国際学術連合	ICSU		
	ISSC/IFSSO分科会	国際社会科学団体連盟	IFSSO		
	AASSREC分科会	アジア社会科学研究協議会連盟	AASSREC		1
副会長	生物科学	国際生物科学連合	IUBS	1	
	化学	国際純正・応用化学連合	IUPAC	4	4
	生化学	国際生化学・分子生物学連合	IUBMB		
	情報学：学術データ情報	科学技術データ委員会	CODATA	1	
	情報学：学術文献情報	国際ドキュメンテーション連盟	FID		1
	太平洋学術	太平洋学術協会	PSA		1
	生体機能応用技術	バイオテクノロジー国際科学委員会	COBIOTEC		
	国際学術協力事業：WCRP	気候変動国際協同研究計画	WCRP		
	海洋科学	海洋研究科学委員会	SCOR		
第1部	歴史学	国際歴史学委員会	CISH		
	東洋学	国際オリエント・アジア研究連合	UIEOA	1	
第2部	法政学術，比較法学	法学国際協会	IALS		
第3部	第3部	国際経済学協会	IEA	1	
	経済史	国際経済史協会	AIHE		
第4部	数学	国際数学連合	IMU		1
	物理学：IUPAP	国際純粋・応用物理学連合	IUPAP	7	8
	天文学	国際天文学連合	IAU		1
	生体環境生物：SCOPE	環境問題科学委員会	SCOPE		
	地質学	国際地質科学連合	IUGS	1	1
	鉱物学	国際鉱物学連合	IMA		
	第四紀	国際第四紀学連合	INQUA		
	地球化学・宇宙化学	国際地球化学・宇宙化学協会	IAGC		
	地理学	国際地理学連合	IGU	1	
	地図学	国際地図学協会	ICA		
	地球物理学	国際測地学・地球物理学連合	IUGG	1	1
	地球電磁気学	太陽地球系物理学科学委員会	SCOSTEP		
	科学史，科学基礎論	国際科学史・科学基礎論連合	IUHPS		
	結晶学	国際結晶学連合	IUCr		
	生物物理	国際純粋・応用生物物理学連合	IUPAB	1	
	宇宙空間	宇宙空間研究委員会	COSPAR		
極地	南極研究科学委員会	SCAR			
	電波科学	国際電波科学連合	URSI		1
第5部	基礎工学：WFEO	世界工学団体連盟	WFEO		
	応用物理学：光学	国際光学委員会	ICO	1	
	自動制御	国際自動制御連盟	IFAC	1	1
	力学：IUTAM	国際理論・応用力学連合	IUTAM		1
第6部	栄養・食糧科学	国際栄養科学連合	IUNS		
	微生物学	国際微生物学連合	IUMS	1	1
	農業土木	国際農業工学会	CIGR		
第7部	生理学	国際生理科学連合	IUPS		
	薬理学	国際薬理学連合	IUPHAR	1	1
	実験動物	国際実験動物科学会議	ICLAS		
	遺伝医学：CIOMS	国際医学団体協議会	CIOMS		
	癌	国際対癌連合	UICC		

加入団体が母体機関の会議数	23	24
未加入団体が母体機関の会議数(裏面参照)	12	46

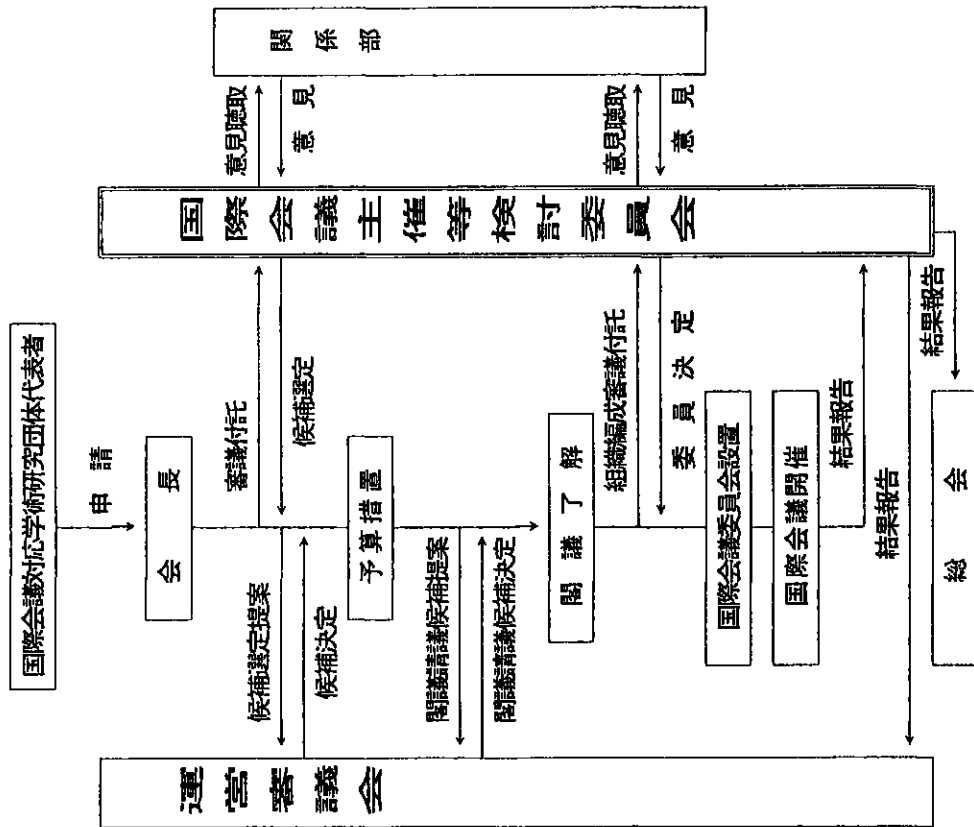
学術会議が共同主催した国際会議(母体機関別)(未加入団体)

部	対応研連	団体名(AB)	76~84年	85~97年
副	化学	アジア化学会連合		1
副	化学	国際量子分子科学アカデミー	1	
副	化学	国際複素環化学協会	1	
副	化学	国際電気化学会(ISE)		1
副	核融合	国際放射線研究連合(IARR)	1	
1	行動科学	国際応用心理学会(IAAP)		1
1, 2	社会福祉、民事法学	国際家族法学会(ISFL)		1
2	基礎法学	法哲学・社会哲学国際学会連合		1
2	公法学	国際憲法学会(IACL/AIDC)		1
2	政治学	国際平和研究学会(IPRA)		1
2	政治学	国際関係学会(ISA)		1
2	法学政治学教育制度	国際シミュレーション&ゲーミング学会(ISAGA)		1
3	経済政策	国際地域学会(The RSAI)		1
3	財政学・金融論	国際財政学会(IIPF)	1	1
3	会計学	国際会計学会		1
4	物理学	国際高圧力科学技術連合		1
4	動物科学	国際動物行動学理事会(ICE)		1
4	動物科学	国際バイオロジー学会(ISB)		1
4	植物科学	国際光合成委員会		1
4	植物科学	国際植物科学菌学連合(IABMS)		1
4	生態・環境生物	国際生態学連合(INTECOL)		1
4	地球物理	国際地震学・地震内部物理学協会		1
4	結晶学	結晶成長国際機構(IOCG)		1
4	生物物理	国際光生物学会(IAP)		1
4, 7	生理学、脳、電波	国際臨床神経生理学連合(IFCN)		1
5	災害工学	国際構造工学協会(IABSE)	1	
5	災害工学	国際土質基礎工学会(ISSMFE)	1	
5	金属工学	国際電子顕微鏡学会連合		1
5	金属工学	国際溶接学会		1
5	材料工学	生物無機化学国際会議国際組織委員会		1
5	自動制御	米国電気電子工学協会(IEEE)		1
5	地震工学	国際地震工学会(IAEE)		1
6	農学	国際柑橘学会	1	
6	農学	国際園芸学会(ISHS)		1
6	植物防疫	国際昆虫学会議	1	
6	植物防疫、微生物	国際植物病理学会		1
6	土壌・肥料・植物栄養	国際土壌科学会(ISSS)		1
6	土壌・肥料・植物栄養	国際植物栄養科学会		1
6	農業経済学	国際農業経済学会(IAAE)		1
6	畜産学	世界畜産学会(WAAP)	1	
6	畜産学	国際草地学会議		1
6	獣医学	世界獣医学協会、世界小動物獣医師会(WVA,WSAVA)		1
6	畜産学	アジア・大洋州畜産学会連合(AAAP)		1
7	7部	国際リハビリテーション医学会		1
7	生理学	国際病態生理学会(ISP)		1
7	薬理学	国際毒科学連合		1
7	実験動物	国際免疫学会連合(IUS)	1	
7	免疫・感染症	国際熱帯医学連盟(IFIM)		1
7	癌・老化	国際老年学協会(IAG)	1	
7	脳・神経学	国際神経病理学会(ISN)		1
7	脳・神経学	世界神経学連合(WFN)		1
7	循環器学	国際内科学会(ISIM)	1	
7	循環器学	世界心電学会		1
7	内分泌学	国際内分泌学会(ISE)		1
7	医療技術開発	国際医用生体工学連合、国際医学物理学会、国際医用物理工学科学連合(IFMBE,IOMP,IUPESM)		1
7	医療技術開発	国際人口臓器学会		1
7	予防医学	国際健康教育ユニオン(IUHPE)		1

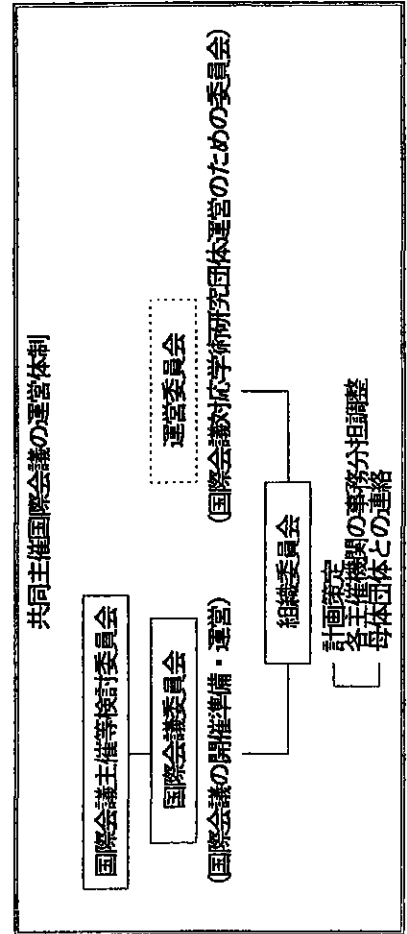
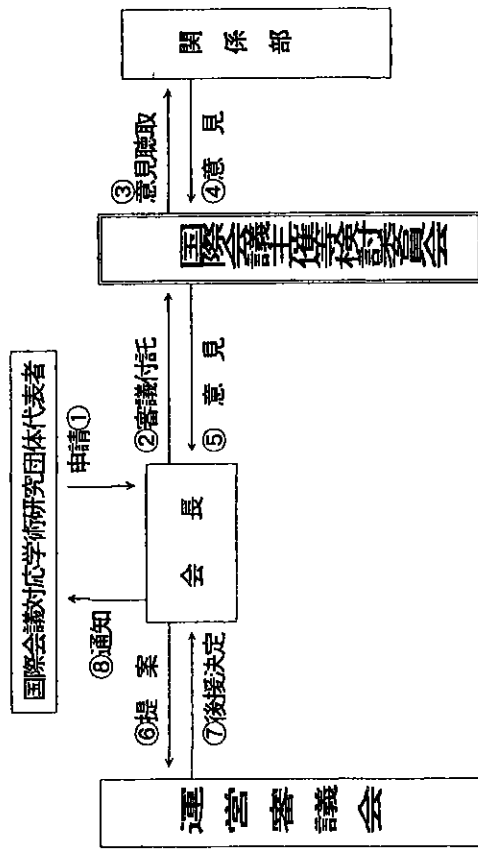
計 12 46

日本学術会議共同主催国際会議等の実施方法

共同主催



後援



加入47団体のアンケートの回答をまとめたものです。
 国際会議には学術シンポジウムも含む。旅費調達は総会だけでなく、各種委員会への旅費調達問題も含む。

名称、国内窓口	目的、活動内容	対応状況	日本人役員	国際対応の問題点	将来展望
国際学術連合(ICSU) ICSU分科会	各国の科学アカデミー及び国際学術団体全体の代表機関で自然科学における最高機関 国際的科学活動の協調促進 国際的次元をもつ科学的な出来事への助言 国際的な学際的科学計画の企画、調整、実施	総会は3年ごと 総務委員会	総務委員会に4人	総会日本開催の受入れ	ICSUの組織見直し
国際社会科学団体連盟(IFSSO) ISSC/IFSSO分科会	学術協力・交流 国際集会の開催	総会は2年ごと 役員会は毎年	第一副会長	事務局の引受け	財政基盤の整備
アジア社会科学協議会連盟 (AASSREC) AASSREC分科会	学術協力・交流 国際集会の開催	総会は2年ごと 役員会は毎年	現在無	分担金増額への対応	アジア地域の未加入国の解消 財政基盤の整備
国際生物科学連合(IUBS) 生物科学研連	関連学会間の情報交換 国際会議の開催 国際共同研究の推進 命名規約、発展途上国の若手研究者支援	ECは年数回開催 GAは3年ごと (日本人参加者は数名)	副会長 学会連合の代表に2人 生物多様性研究の支援 組織設置	パリへの会議参加に困難 総会参加への旅費調達 共同研究の資金	生物科学の総合的推進
国際純正・応用化学連合(IUPAC) 化学研連	学術協力・交流、国際会議命名法・表記法 基本データの評価集積、標準的技術の設定と報告 資源環境等の重要課題の検討	Council	部長2人を含む委員43名 委員総数の7.1% 分担金は11.4% 議決票数は6票	総会への参加費用の調達 総会以外の各種会議への公的支援	科学の多様化をあわせた IUPACの役割、ICSU等の 他学術団体との協力
国際生化学・分子生物学連合 (IUBMB) 生化学連合	研究推進、教育活動の支援 国際会議の開催	EC、総会は3年ごと (日本から5人)	会長、EC附置委員会に1人	アジア・オセアニア地域連合への対応、総会の学術意義の喪失と若手研究者の参加減少	
化学技術データ委員会 (CODATA) 情報学研連学術データ情報 専門委	ICSU設置下の科学委員会 データの質、信頼度、処理、標準 化、利用の改善 国際会議の開催、教育訓練	総会は2年ごと 理事会は毎年	副会長、理事1名 分担金は11.5% 若手研究者のための国立基金設立 96年つくばで総会開催	年1回開催の各種委員会への旅費調達	コンピュータサイエンスを 活用した生物・環境情報 の発達 データベース構築

名称、国内窓口	目的、活動内容	対応状況	日本人役員	国際対応の問題点	将来展望
海洋研究科学委員会(SCOR) 海洋科学研連	ICSU傘下の委員会 研究集会、国際研究計画の立案・ 実施、研究方法の改善、海洋環 境、海洋活動 表彰・研究助成	総会は2年ごと 執行委員会	ほとんどすべてのWGに 参加	各種委員会への旅費調達 日本開催時の受入れ	アジア西太平洋地域の 研究体制の充実
気候変動国際協同研究計画 (WCRP) 国際学術協力事業研連 WCRP専門委	WMO, ICSU, IOCの共同研究 気候変動研究を国際的枠組みで 共同して実施 4プロジェクト GEWEX, CLIVER, SPARC, ACSYS	Joint Scientific Committee プロジェクトごとに委員会	JSCIに2名他プロジェクト委 員会等に10名	アジア地域でのリーダー シップ 研究戦略に基づいた研 究支援体制 国内関連諸機関の協力	
国際歴史学委員会(CISH) 歴史学研連	国際歴史学会議の開催5年ごと 歴史学に関する情報交換	総会(国際歴史学会議と その中間時)	95年総会で理事1名予定	国際歴史学会議の日本開 催の可能性と資金調達	非ヨーロッパ地域の歴史 家の役割充実
国際オリエンタ・アジア研究連合 (IUOAS) 東洋学研連	研究者交流、情報交換国際全 議の開催、出版プロジェクト支援	総会 役員会	会長	日本人の後任役員を選出	ユネスコ以外からの財政 基盤整備
国際経済学協会(IEA) 第3部	世界大会3年ごと 円卓会議3, 4回/年 活動成果の出版	評議会(世界大会時) 執行委員会は毎年	評議員、執行委員各1名	旅費調達 円卓会議の日本開催	日本の貢献向上
国際経済史協会(AAHH) 経済史研連	国際会議 出版助成	大会は4年ごと	副会長1名	アジア諸国の加盟推進	大会の日本開催
国際数学連合(IMU) 数学研連	研究者交流、国際会議・シンポジ ウム、発展途上国への援助、 数学教育	4年ごと	執行委員1名		応用数学の連合体の組 織化
国際純正・応用物理学連合 (IUPAP) 物理学研連(IUPAP専門委)	加盟国、地域との協力 物理学の特に発展途上国での発 展を促進、国際協力、物理学教 育の改善普及	総会は3年ごと 理事会は毎年	会長 19の委員会すべてに役員 を選出している	国際会議への参加旅費 の絶対不足 参加費用の公的支援	アジア西太平洋地域の物 理学者、大学、研究機構 との交流を密にしたい
国際天文学連合(IAU) 天文学研連	学術協力、交流総会8年ごと シンポジウム年数回	総会			
国際地質科学連合(IUGS) 地質学研連	国際的な研究計画の実施 国際共同研究計画の共催 国際会議(万国地質会議)	評議会は4年ごと 執行委員会は毎年	副会長1名 常置委員会15名	各種国際会議への体系的 な対応が困難 国際学術団体の連絡周知	日本の貢献

名称、国内窓口	目的、活動内容	対応状況	日本人役員	国際対応の問題点	将来展望
国際鉱物学連合(IMA) 鉱物学研連	国際会議	総会は4年ごと	理事1名	旅費調達 国際会議の国内開催費	
国際第四紀学連合(INQUA) 第四紀研連	国際会議	総会は4年ごと (日本人は67人参加) 専門委員会	副会長候補1名 専門委員長1名 副委員長3名	総会・専門委員会の旅費 調達 シンポジウム等の国内開催	東アジア・西太平洋地 域でのネットワーク構築、 国際共同研究、シンポ ジウムの組織化
国際地球化学・宇宙化学協会 (IAGC) 地球化学宇宙化学研連	国際会議	総会は2年ごと ワーキンググループ	会長 評議員1名	旅費調達、国際団体と研 究委員の任期の不一致 (代表派遣資格)、国内活 動の財源	
国際地理学連合(IGU) 地理学研連	国際会議	総会は4年ごと 地域会議は4年ごと	副会長1名 エグゼクティブグループに 20数名	日本の地理的制約を踏ま えての参加方法	日本提案による最先端 研究の小規模会議の国 内開催
国際地図学協会(IICA) 地図学研連	地図学的課題研究の振興 地図学研究の国際連携、 情報交換・教育 国際会議	総会は4年ごと 理事会	副会長1名 表彰委員1名	旅費調達 国内会議開催費用	日本の方針の明確化 日本の得意分野での先 導的な開発、基礎的地 理資料の整備、発展途 上国への技術協力 国際地図学会議の誘致
太陽地球系物理学・科学委員会 (SCOSTEP) 地球電磁気学研連	全球的な観測研究を衛星等と呼 び込める国際協同研究 発展途上国の参加 国際会議 STEP事業の実施	総会は2年ごと(日本4名) 評議員は毎年(日本2名) STEP専門委員会 (日本3名)	副会長1名 評議員1名 計2名 他5名	旅費調達 SCOSTEPの窓口がSTEP 事業の窓口である学術協 力事業研連STEP専門委 員会が代理	赤道域を中心とする途 上国の支援 太陽・地球系から太陽 系に研究対象を拡張
国際科学史・科学基礎論連合 (IUHPS) 科学基礎論研連		総会は4年ごと(日本5名)	理事1名 エグゼクティブ委員長1名	アジア諸国の技術史研究 の興隆に伴った国際活動 の組織的進展、旅費調達、 分担金上昇への対応	国際会議の日本招致
国際結晶学連合(IUCr) 結晶学研連	学術雑誌の発行、結晶学データ・ 名簿等の発行 国際会議、若手のスクール、 結晶学に関わる標準化、教育	総会は3年ごと(日本4名) 執行委員会は毎年 各種委員会	執行委員1名 委員長1名 委員12名	旅費調達、分担金上昇へ の対応 アジア結晶学連合への貢献 国際会議の日本開催 研連活動を学会に依存	複数の国際学術団体へ 対応できる研連の役割・ 財政基盤の検討要望

名称、国内窓口	目的、活動内容	対応状況	日本人役員	国際対応の問題点	将来展望
宇宙空間研究委員会(COSPAR) 宇宙空間研連	国際会議	総会は2年ごと	副会長1名	若手研究者の旅費調達	国際会議の日本開催
南極研究科学委員会(SCAR) 極地研連	国際会議	総会は2年ごと (日本10数名) 役員会は毎年 作業委員会 専門家会議(4名)	現在無	旅費調達 特別分担金への対応 ナショナルレポートの業 務対応 国際会議の日本開催	南極・北極への対応 地球・南極の環境問題と 南極条約への対応
国際電波科学連合(URSI) 電波科学研連	国際協力による研究測定方法等 の標準化 関連研究の促進・調整 国際会議	総会・理事会は3年ごと 役員会(中間年)	副会長1名 委員会副議長1名	旅費調達 ナショナルレポートの作成費用	新規研究分野の発展と そのための関連団体と の協力
世界工学会団体連盟(WFEO) 基礎工学研連WFEO専門委	国際会議	総会は2年ごと 執行委員会は毎年	副会長1名	旅費調達 新旧委員の引継ぎ	国際技術者連盟との調整
国際光学委員会(ICO) 応用物理学研連光学専門委	国際会議	総会は3年ごと	副会長1名	旅費調達	国際会議の定期的な国 内開催
国際自動制御連盟(IFAC) 自動制御研連	国際会議 機関誌等発行	総会は3年ごと (99年100名) 理事会	理事1名	国内の事務対応の支援 旅費調達	2005年の総会の日本招 致、途上国援助のIFAC 財団対応
国際理論・応用力学連合 (IUTAM) 力学研連IUTAM専門委	国際学術協力 新分野の研究推進 途上国への援助 国際会議	総会は2年ごと(4名+α) 理事会は毎年(1名) その他(2名)	シンポジウムの国内開催 国際会議の日本開催	旅費調達	新規分野の研究推進
国際栄養科学連合(IUNS) 栄養・食料科学研連	国際会議	総会は4年ごと(3名)	現在無	従来は国際対応の研連・ 学会・個人間での役割分 担に支障があった(現在は 解決)	総会の日本開催
国際微生物学連合(IUMS) 微生物学研連	国際会議	総会 執行委員会 運営委員会	副会長1名	旅費調達 国際学術団体への援助 (財政支援も含む)	若手研究者の育成と国際 会議への参加
国際生理科学連合(IUPS) 生理学研連	国際会議、専門分野別学術交 流・協力、学術誌の発行、 名簿作成	総会(7名)	会長1名 委員1名 専門委員長3名	旅費調達 アジア大洋州生理科学連 合への加入 国際会議の国内開催支援	

名称、国内窓口	目的、活動内容	対応状況	日本人役員	国際対応の問題点	将来展望
国際実験動物科学会議(ICLAS) 実験動物研連	国際協力・教育、途上国支援、標準化、倫理課題、国際会議、出版、規約作成	総会は4年ごと 理事会は毎年	副会長1名	国、地域ごとにある実験動物科学の課題への取り組み、動物実験基準の国際標準化	学術シンポジウムでのグローバル問題への取り組み、医学及び基礎科学への対応
国際医学団体協議会(CIOMS) 遺伝医学研連CIOMS専門委	会員(国際学会、国内機関)間での調整センター ユネスコ、WHOとの協力 医学分野における国際活動を促進、国際的生医学社会の科学的利益に奉仕 WHOの健康政策の補完	総会は3年ごと(1名) 執行委員会は毎年	現在無 犬山宣言(生殖細胞に影響を及ぼす遺伝子治療の禁止)	旅費調達	CIOMSカンファレンスの日本開催
国際地質対比計画(IGCP) 国際学術協力事業研連 IGCP専門委	ユネスコとIUGSの共同研究事業 地球環境の解明、エネルギー敏 物資源の発見と利用、地質過程 の研究	50のプロジェクトが同時 進行 プロジェクトリーダー(4名) ワーキンググループ(12名)	本部理事会委員1名 プロジェクトごとの国際会議 の開催及び委員の派遣	旅費調達 途上国の参加援助 国内委員会活動の支援	ユネスコ関連事業として より充実、日本からのプ ロジェクト提案

研連が対応している未加入国際団体(58)

対応研連	国際団体
情報学	国際科学技術情報協議会
海洋科学	世界海洋生態系研究国際計画
海洋科学	世界海洋観測システム合同科学技術委員会
平和問題	アジア平和研究協会
平和問題	国際平和研究協会
地球環境	地球環境変化の人間の次元の研究計画/HDP
地球環境	地球圏－生物圏国際協同研究計画/IGBP
国際学術協力事業	太陽地球系エネルギー国際協同研究計画
国際学術協力事業	国際リソスフェア探査開発計画
国際学術協力事業	気候変動国際協同研究計画
国際学術協力事業	国際地質対比計画
哲学	哲学会国際連合
民事法学	ドイツ法係民事訴訟法担当者会議
民事法学	法学方法論国際学会
民事法学	国際商事仲裁協会
民事法学	国際手続法学会
民事法学	世界訴訟学会
経済理論	経済学史学会
経済理論	経済思想史学会
経済理論	オーストラリア経済学史学会
物理学	理論物理国際センター
物理学	Joint Institute of Nuclear Research
物理学	European Organization for Nuclear Research
物理学	一般相対論と重力にかんする国際委員会
物理学	大強度加速器にかんする国際委員会
物理学	将来の加速器にかんする国際委員会
植物科学	国際植物組織培養学会
植物科学	国際植物学・菌学会連合
植物科学	国際植物分類学連合
植物科学	国際植物生理学連合
人類学・民族学	国際人類民族科学連合
地質学	国際岩の力学協会
地質学	国際数理地質学協会
地質学	国際水文地質学協会
地質学	国際堆積学協会
鉱物学	国際鉱床学連合
第四紀	UNESCO-IUGS Joint Program Climates of the Past
測地学	国際GPSサービス事業
地球電磁気学	国際地球電磁気学・超高層物理学協会

対応研連

気象学
陸水
海洋物理学
結晶学
結晶学
結晶学
極地
熱工学
力学
水力学・水理学
水力学・水理学
水資源学
育種学
林学
水産学
畜産学
微生物学
病態代謝学
毒科学

国際団体

国際気象学大気科学協会
国際水文科学協会
国際海洋物理科学協会
アジア太平洋先進材料国際学会
結晶成長国際機構
国際結晶成長学会
国際北極科学委員会
アジア熱物性会議
国際レオロジー委員会
国際水理学会
国際海洋・極地工学会
国際水資源学会
イネ遺伝学連合
国際林業研究機関連合
世界水産学協議会
国際草地学連合
国際微生物生態学連合
国際動脈硬化学会
国際毒科学連合

登録学協会が対応(310)

推薦研連	対応学協会	国際団体
遺伝医学	日本人類遺伝学会	国際人類遺伝学会常置委員会
遺伝医学	日本先天代謝異常学会	国際先天代謝異常学会
医薬	日本薬学会	アジア医薬化学連合
医薬	日本薬学会	アジア医薬品化学連盟
医薬	日本薬学会	国際薬学連合
医療技術開発学	日本エム・イー学会	国際医用生体工学連合
医療技術開発学	日本核医学会	国際心臓核医学会議
育種学	日本育種学会	国際遺伝学連合
育種学	日本育種学会	アジア大洋州育種学会
育種学	日本育種学会	欧州植物育種学会
応用物理学	日本真空協会	真空科学・技術・応用国際連合
応用物理学	日本航海学会	日中航海学会学術交流会
応用物理学	日本航海学会	国際航法学会
化学	日本化学会	アジア化学連合
化学	日本化学会	アジア化学会連合
化学	日本化学会	環太平洋国際化学会議
化学工学	化学工学会	アジア太平洋化学工学連合
家政学	国際服飾学会	国際服飾学術会議
家政学	日本家庭科教育学会	国際家政学会
家政学	日本家庭科教育学会	アジア地区家政学会
科学教育	日本図学会	国際図学会
科学教育	日本図学会	図学国際会議
科学教育	日本科学教育学会	ICASE (アイケース)
科学教育	日本産業技術教育学会	国際技術教育協会
科学教育	日本図学会	日中図学教育国際会議
会計学	日本会計研究学会	米国会計学会
会計学	日本会計研究学会	アジア・太平洋地域国際会計研究会議
会計学	日本会計研究学会	ヨーロッパ会計学会
会計学	日本会計研究学会	国際会計学会
会計学	日本会計研究学会	東南アジア大学会計学教師会議
解剖学	日本組織細胞化学会	国際組織細胞化学会連合
感覚器医学	日本眼科学会	国際眼科学連合
感覚器医学	日本耳鼻咽喉科学会	国際耳鼻咽喉科学会連合
癌・老化	日本老年医学会	国際老年学会
基礎法学	日本法社会学会	米国・法社会学会
基礎法学	日本法社会学会	国際法社会学会(国際社会学会・法社会学研究委員会:RCSL)
基礎法学	法制史学会	国際法制史学会
基礎法学	日本法哲学会	法哲学・社会哲学国際学会連合
機械工学	日本太陽エネルギー学会	国際太陽エネルギー学会

推薦研連

金属工学
 金属工学
 金属工学
 経営学
 経営学

 経営工学
 経営工学
 経営工学

 経営工学

 経済政策
 経済政策
 経済政策
 経済政策
 経済政策
 経済政策
 経済政策

 経済政策
 経済政策
 経済政策
 経済政策
 経済理論
 原子力工学
 原子力工学
 原子力工学
 語学・文学
 口腔機能学
 口腔機能学
 口腔機能学
 口腔機能学
 口腔機能学
 口腔機能学
 口腔機能学
 口腔機能学
 口腔機能学
 口腔機能学
 口腔機能学
 口腔機能学
 口腔機能学
 口腔機能学
 口腔機能学
 口腔機能学
 口腔機能学
 口腔機能学

対応学協会

溶接学会
 表面技術協会
 日本熱処理技術協会
 組織学会
 オフィス・オートメーション学会
 日本経営工学会
 日本品質管理学会
 日本オペレーションズ・リサーチ学会
 日本オペレーションズ・リサーチ学会
 日本地域学会
 社会政策学会
 日本中小企業学会
 日本中小企業学会
 社会政策学会
 日本地域学会
 日本地域学会

 ロシア・東欧学会
 日本人口学会
 日本地域学会
 日本地域学会
 理論・計量経済学会
 日本原子力学会
 日本原子力学会
 日本原子力学会
 日本語学会
 日本歯科放射線学会
 日本歯科放射線学会
 日本歯科放射線学会
 日本歯科放射線学会
 日本歯科放射線学会
 日本口腔腫瘍学会
 日本歯科放射線学会
 日本口腔外科学会
 日本口腔外科学会
 日本口腔外科学会
 日本口腔外科学会
 日本歯科麻酔学会
 日本障害者歯科学会
 日本老年歯科医学会
 日本口腔外科学会

国際団体

国際溶接学会
 アジア表面処理フォーラム
 国際熱処理連盟
 国際社会学会連合会
 オフィスオートメーション国際大会

 経営工学国際会議
 アジア品質管理シンポジウム
 アジア太平洋地域オペレーションズ・リサーチ学会連合
 国際オペレーションズ・リサーチ学会連合

 国際地域学会
 ヨーロッパ社会保障学会
 国際中小企業会議
 国際中小企業研究協議会
 ヨーロッパ労働経済学会
 第42回国際地域学会北米大会
 第14回国際地域学会・「環太平洋地域学大会機構」大会
 中欧・東欧研究国際会議
 国際人口学会
 第5回国際地域学会世界大会
 第35回国際地域学会ヨーロッパ大会
 計量経済学会
 国際原子力学会連合
 第10回環太平洋原子力会議
 環太平洋原子力協議会
 常設国際言語学者委員会
 アジア口腔顎顔面放射線学会議
 米国口腔顎顔面放射線学会
 国際歯顎顔面放射線学会議
 大韓口腔顎顔面放射線学会
 オーストラリア口腔顎顔面放射線学会
 国際口腔顎顔面外科協会
 国際歯顎顔面放射線学会
 国際口腔顎顔面外科学会
 アジア口腔顎顔面外科学会
 大韓口腔顎顔面外科学会
 米国歯科麻酔学会
 国際障害者歯科学会
 アジア・オセアニア国際老年学会
 米国口腔顎顔面外科学会

推薦研連	対応学協会	国際団体
口腔機能学	日本歯科麻酔学会	国際歯科麻酔学会連合
航空宇宙工学	日本航空宇宙学会	国際航空疲労委員会
航空宇宙工学	日本航空宇宙学会	国際宇宙航行学連盟
航空宇宙工学	日本航空宇宙学会	エアープリージングエンジン国際学会
航空宇宙工学	日本航空宇宙学会	国際航空科学会議
行動科学	日本行動療法学会	国際行動療法学会
行動科学	日本グループ・ダイナミックス学会	アジア社会心理学会
行動科学	日本保健医療行動科学会	国際保健医療行動科学会議
行動科学	日本心理学会	国際応用心理学会
鉱物学	日本鉱物学会	隕石学会
鉱物学	日本鉱物学会	国際キンバライト会議
災害工学	土木学会	国際地震工学会
災害工学	土木学会	IABSE・国際構造工学会
災害工学	地盤工学会	国際ジオシンセティクス学会
災害工学	地盤工学会	国際土質基礎工学会
細胞生物学	日本細胞生物学会	国際細胞生物学連合
細胞生物学	日本細胞生物学会	アジア・太平洋細胞生物学会議
材料工学	電気化学会	国際電気化学会
材料工学	日本材料強度学会	国際材料破壊学会
材料工学	日本材料学会	材料の力学的挙動国際機関
材料工学	日本バイオマテリアル学会	世界バイオマテリアル学会連盟
材料工学	触媒学会	国際触媒会議
材料工学	高分子学会	太平洋高分子連合
材料工学	石油学会	世界石油会議
材料工学	電気化学会	国際電気化学会議
材料工学	日本写真学会	国際写真学委員会・国際写真科学会議
材料工学	日本ゴム協会	国際ゴム技術会議機構
材料工学	日本油化学会	International Society for Fat Research
材料工学	日本セラミックス協会	国際セラミックス連合連合
材料工学	日本セラミックス協会	国際ガラス委員会
材料工学	日本バイオマテリアル学会	日本バイオマテリアル学会国際委員会
財政学・金融論	日本財政学会	国際財政学会
蚕糸学	日本蚕糸学会	野蚕学会
蚕糸学	日本蚕糸学会	国際無脊椎動物病理学会
資源開発工学	資源・素材学会	国際岩の力学会議
資源開発工学	資源・素材学会	国際選鉱学科学委員会
資源開発工学	資源・素材学会	国際鉱物探シンポジウム
資源開発工学	資源・素材学会	資源経済・経営学会
資源開発工学	資源・素材学会	国際選炭会議

推薦研連

資源開発工学
 資源開発工学
 資源開発工学

 資源開発工学
 資源開発工学
 資源開発工学
 資源開発工学
 資源開発工学
 資源開発工学
 自動制御
 自動制御
 自動制御
 自動制御
 社会学
 社会学
 社会学
 社会学
 社会学
 社会学
 宗教学
 宗教学
 出生・発達障害
 出生・発達障害
 循環器学
 循環器学
 循環器学
 循環器学
 循環器学
 循環器学
 消化器学
 消化器学
 情報学
 情報学会
 情報工学
 情報工学
 情報工学
 植物防疫
 植物防疫
 植物防疫
 植物防疫
 植物防疫

対応学協会

資源・素材学会
 資源・素材学会
 資源・素材学会

 資源処理学会
 資源・素材学会
 物理探査学会
 資源・素材学会
 日本地熱学会
 資源・素材学会
 計測自動制御学会
 計測自動制御学会
 計測自動制御学会
 計測自動制御学会
 日本社会学会
 日本村落研究学会
 日本老年社会科学会
 日本犯罪社会学会
 日本犯罪社会学会
 日本家族社会学会
 日本宗教学会
 日本宗教学会
 日本小児科学会
 日本先天異常学会
 日本脈管学会
 日本循環器学会
 日本心電学会
 日本脳波・筋電図学会
 日本心臓血管外科学会
 日本循環器学会
 日本消化器内視鏡学会
 日本消化器内視鏡学会
 情報処理学会
 日本情報地質学会
 日本神経回路学会
 日本神経回路学会
 日本神経回路学会
 日本農薬学会
 日本植物病理学会
 日本雑草学会
 日本農薬学会
 日本農薬学会

国際団体

英連邦鉱山冶金学会会議
 鉛・亜鉛に関する国際会議
 21世紀に向けての材料プロセッシングに関する
 国際会議
 鉱物処理工学国際処理科学委員会
 機能材料プロセッシングに関する国際会議
 物理探査学会
 アメリカ鉱山・冶金・石油学会
 国際地熱学会
 世界鉱業会議
 国際計測連合
 国際計測連盟
 国際応用解連盟
 国際コンピュータシミュレーション連盟
 国際社会学会
 国際農村社会学会
 国際老年学会
 国際犯罪学会
 国際社会学会逸脱と社会統制研究委員会
 国際社会学会家族研究委員会
 国際哲学会
 国際宗教学宗教史会議
 国際小児科学会
 国際先天異常学会連盟
 国際脈管学会
 国際心臓連合
 国際心電学協会
 国際臨床神経生理学会
 国際心臓血管外科学会
 アジア・太平洋心臓学会
 世界消化器内視鏡学会
 アジア太平洋消化器内視鏡学会
 情報処理国際連合
 国際数理地質学会
 アジア太平洋神経回路連合
 米国神経回路学会
 欧州神経回路学会
 国際農薬科学シンポジウム
 中国植物病理学会
 アジア太平洋雑草学会
 日中農薬科学シンポジウム
 国際農薬化学会議

推薦研連	対応学協会	国際団体
植物防疫	植物化学調節学会	国際植物生長物質会議
植物防疫	日本雑草学会	国際雑草学会
心理学	日本心理学会	国際心理科学連合
心理学	日本カウンセリング学会	国際応用心理学会
心理学	日本心理学会	国際テスト委員会
心理学	日本心理学会	アジア・アフリカ心理学会
心理学	日本家族心理学会	国際家族心理学会
心理学	日本健康心理学会	国際健康心理学会
心理学	日本発達心理学会	国際行動発達学会
人類学・民族学	日本霊長類学会	国際霊長類学会
数学	日本数学会	数学教育国際委員会
政治学	日本選挙学会	国際政治心理学会
生化学	日本生化学会	アジア・オセアニア生化学・分子生物学連合
生態・環境生物学	日本生態学会	国際生態学連合
生態・環境生物学	日本陸水学会	国際陸水学会議(国際理論応用陸水学会)
生理学	日本生理学会	アジア大洋州生理科学連合
精神医学	日本生物学的精神医学会	生物学的精神医学会世界連合
精神医学	日本精神神経学会	世界精神医学会
造船学	日本造船学会	国際船舶海洋構造会議
造船学	日本造船学会	国際試験水槽委員会
体育学	日本体育学会	国際スポーツ体育学会
体育学	日本体育学会	国際体育連合
体育学	日本バイオメカニクス学会	国際バイオメカニクス学会
体育学	日本体育学会	国際保健体育レクリエーション学会
地域医学	日本プライマリ・ケア学会	国際家庭医学会
地域医学	日本農村医学会	国際農村医学会
地質科学総合	日本地下水学会	国際水文地質学会
地質科学総合	日本地形学連合	国際地形学会
地質学	日本古生物学会	国際古生物学協会
地質学	日本地質学会	万国地質学会議
畜産学	日本畜産学会	世界畜産連合
畜産学	日本家禽学会	万国家禽学会
畜産学	日本畜産学会	アジア・大洋州畜産学会連合
畜産学	日本畜産学会	世界畜産学会
天文学	日本天文学会	国際天文学連合
電気工学	電気学会	大電力システム会議
電気工学	電気学会	世界エネルギー会議
電気工学	エネルギー・資源学会	International Energy Workshop
電気工学	照明学会	CIE・国際照明委員会
電気工学	静電気学会	アメリカ静電気学会

推薦研連

物理学
物理学
物理学
物理学
物理学
物理学
物理学
物理学
物理学
物理学
物理学
物理学
物理学
物理学
物理学
物理学
物理学
物理学
物理学
免疫・感染症
免疫・感染症
免疫・感染症
免疫・感染症
免疫・感染症
歴史学
歴史学
歴史学
咬合学
咬合学
咬合学
咬合学
咬合学
咬合学
咬合学
咬合学
咬合学
咬合学
咬合学
咬合学
咬合学
咬合学
咬合学
咬合学
咬合学

対応学協会

日本物理学会
日本物理学会
日本流体力学会
日本物理学会
日本放射光学会
日本物理学会
日本物理学会
日本物理学会
日本物理学会
日本物理学会
日本応用磁気学会
日本結晶学会
日本生物物理学学会
日本応用磁気学会
日本結晶学会
日本科学史学会
日本科学史学会
日本物理学会
日本アレルギー学会
日本化学療法学会
日本リンパ網内系学会
日本リンパ網内系学会
日本化学療法学会
内陸アジア史学会
名古屋歴史科学研究会
軍事史学会
日本補綴歯科学会
日本歯科理工学会
日本顎頭蓋機能学会
日本歯科審美学会
日本顎咬合学会
日本顎咬合学会
日本顎咬合学会
日本顎咬合学会
日本顎咬合学会
日本顎咬合学会
日本補綴歯科学会
日本矯正歯科学会
日本矯正歯科学会
日本歯科審美学会
日本口腔インプラント学
会

国際団体

連合原子核研究所
理論物理学国際センター
アジア流体力学会議
アフリカ物理学者数学者協会
放射光アジアフォーラム
国際理論物理学センター
セルン
ラテンアメリカ物理学センター
ラテンアメリカ物理学会連合
ユーロ・アジア物理学会
国際磁気連合会議
結晶学国際連合
東アジア生物物理学シンポジウム
磁気及び磁性材料会議
アジア結晶学連合
環太平洋科学史会議
東アジア科学史・技術史・医学史学会
東南アジア理論物理学協会
国際アレルギー・臨床免疫学会
西太平洋化学療法学会議
International Symposium on Dendritic Cells
Society for Leukocyte Biology
国際化学療法学会議
将来の加速器にかんする国際委員会
大強度加速器にかんする国際委員会
国際軍事史学会
国際歯科補綴家会議
国際歯科材料学会
国際顎頭蓋機能学会
アジア歯科審美学会
国際顎咬合学会ヨーロッパ部会
国際顎咬合学会アジア部会
国際顎咬合学会ラテンアメリカ部会
国際顎咬合学会アメリカ部会
国際顎咬合学会
国際歯科補綴家会議アジア部会
国際矯正歯科医連盟
アジアパシフィック矯正歯科学会
国際歯科審美学会
国際口腔インプラント会議

国内対応者が研連、登録学会以外のもの(78団体)

国際団体

CIB・国際建築研究情報会議
 IAEE・国際地震工学会
 IASS・国際シェル・空間構造学会
 RILEM・国際材料構造試験研究機関連合
 アジアスポーツ医学会
 アジア海運会議
 アジア水産学会
 アジア太平洋先進科学部国際学会
 インターフェロンとサイトカニン研究の国際委員会
 ゴードン研究会議
 バイオメカニクス世界評議会
 ヒトゲノム研究機構
 ヨーロッパ共同体委員会第11理事会
 液体微粒化国際評議会
 欧州液体微粒化会議
 沖合機械・極地工学会
 海洋科学技術太平洋会議
 韓国人事・組織学会

 韓日経商学会
 極東破壊研究団体
 国際エネルギー機関エネルギー研究開発局

 国際スポーツ医学会
 国際スポーツ医学連盟
 国際ゼオライト会議
 国際バイオレオロジー学会
 国際圧力容器工学会議
 国際医用セラミックス委員会

 国際液体微粒化会議
 国際応用地質学協会
 国際沖合・極地工学会
 国際音楽教育協会
 国際海運経済学者学会
 国際感情心理学会
 国際灌漑排水委員会
 国際岩の力学学会
 国際技術史委員会

 国際刑法学会
 国際結晶成長学会
 国際健康教育ユニオン

対応団体

建設省建築研究所
 (社)震災予防協会
 東京大学生産技術研究所
 建設省建築研究所
 日本体力医学会

 アジア水産学会日本支部

 バイオメカニクス研究連絡協議会
 HUGO JAPAN 東大医科研

 日本液体微粒化学会
 日本液体微粒化学会
 海洋工学連絡会
 海洋工学連絡会
 会長相互の訪問と会員の学会活動での相互交流

 新エネルギー・産業技術総合開発機構
 日本体力医学会

 ゼオライト研究会
 日本バイオレオロジー学会
 (社)日本高圧力技術協会
 整形外科セラミック・インプラント研究会
 日本液体微粒化学会

 海洋工学連絡会
 日本音楽教育学会
 (財)海事産業研究所
 日本感情心理学会
 農林水産省
 岩の岩の力学連合会
 ICOHTEC日本委員会及び科学史研連
 個人
 結晶研連 日本結晶学会

国際団体

国際原子力機関
国際自動車技術連合
国際社会防衛学会
国際周産期学会
国際照明委員会
国際先史学・原史学連合
国際地震工学会
国際調査地図作成連合
国際電気標準会議超電導技術委員会
国際統計協会
国際燃焼機関会議
国際脳循環代謝学会
国際農村医学会アジア部会
国際肺癌学会
国際犯罪学会
国際風工学会
国際放射線研究連合
国際酪農連盟
国際林業機関連合
国際労使関係学会
国際労働衛生協会
国際労働法社会保障学会
国際老年精神医学会
国際哺乳動物ゲノム学会
世界気管支会議
世界気管食道会議
世界胸部疾患会議
世界交通学会
世界考古学会議
世界周産期医学会
政府間海洋学委員会／西太平洋事業
生物多様性国際協同研究計画
生物多様性西太平洋・アジア地域委員会
耐火物統一国際会議
電力系統計算会議
比較法国際アカデミー
米国圈液体微粒化会議
米国電気電子技術者協会
万国海法会

対応団体

対外: 外務省 国内: 科学技術庁
自動車技術会
個人
日本周産期学会
日本照明委員会
個人対応
(財)震災予防協会
地図学研連
国際超電導産業技術研究センター
総務庁統計局
自動車技術会
日本脳循環代謝学会
佐久総合病院
東京医科大学がんセンター
個人
日本風工学会
日本放射線研究連合
(社)日本国際酪農連盟
農林水産省森林総合研究所

日本老年精神医学会

世界気管支学会日本事務局
世界気管支学会日本事務局
胸部疾患学会事務局
計画・交通研究会
個人対応
日本周産期医学会
文部省学術国際局
日本生物多様性委員会
日本生物多様性委員会
耐火物技術協会
電力中央研究所
東京大学法学部研究室
日本液体微粒化学会
IEEE東京支部
(財)日本海法会

相手先が一国に限られていると思われる団体(25団体)

国際団体名	対応団体
アイオワ州立大学国際理論物理学研究所	日本物理学会
アメリカ鉱山・冶金・石油学会	資源・素材学会
アメリカ静電気学会	静電気学会
ショック学会(アメリカ)	日本Shock学会
ドイツ法係民事訴訟法担当者会議	
英連邦鉱山冶金学会会議	資源・素材学会
韓国人事・組織学会	
韓日経商学会	
国際顎咬合学会アメリカ部会	日本顎咬合学会
大韓口腔顎顔面外科学会	日本口腔外科学会
大韓口腔顎顔面放射線学会	日本歯科放射線学会
中国植物病理学会	日本植物病理学会
日韓教育行政学共同セミナー	日本教育行政学会
日韓脳卒中の外科学会	日本脳卒中の外科研究会
日中航海学会学術交流会	日本航海学会
日中図学教育国際会議	日本図学会
日中農業科学シンポジウム	日本農業学会
米国・法社会学会	日本法社会学会
米国会計学会	日本会計研究学会
米国圈液体微粒化会議	
米国口腔顎顔面外科学会	日本口腔外科学会
米国口腔顎顔面放射線学会	日本歯科放射線学会
米国歯科麻酔学会	日本歯科麻酔学会
米国神経回路学会	日本神経回路学会
米国電気電子技術者協会	

相手先がアジア・太平洋地域(70団体)

国際団体

アジア・オーストラリア脳神経外科学会
 アジア・オーストラレーシア支部(世界麻酔学会連合)
 アジア・オセアニア国際老年学会
 アジア・オセアニア生化学・分子生物学連合
 アジア・太平洋細胞生物学会議
 アジア・太平洋心臓学会
 アジア・太平洋神経化学会
 アジア・太平洋地域国際会計研究会議
 アジア・大洋州畜産学会連合
 アジア-アフリカ心理学会
 アジアオセアニア神経学会
 アジアスポーツ医学会
 アジアパシフィック矯正歯科学会
 アジア医薬化学連合
 アジア医薬品化学連盟
 アジア化学会連合
 アジア化学連合
 アジア海運会議
 アジア結晶学連合
 アジア口腔顎顔面外科学会
 アジア口腔顎顔面放射線学会議
 アジア作物学会議
 アジア歯科審美学会
 アジア歯科審美学会
 アジア社会心理学会
 アジア水産学会
 アジア太平洋化学工学連合
 アジア太平洋呼吸療法学会
 アジア太平洋雑草学会
 アジア太平洋消化器内視鏡学会
 アジア太平洋神経回路連合
 アジア太平洋先進科学部国際学会
 アジア太平洋先進材料国際学会
 アジア太平洋大災害医療学会
 アジア太平洋地域オペレーションズ・リサーチ学会連合
 アジア太平洋物理学会連合
 アジア大洋州育種学会
 アジア大洋州生理科学連合
 アジア地区家政学会
 アジア地区家政学会
 アジア熱物性会議

対応団体

日本脳神経外科学会
 日本麻酔学会
 日本老年歯科医学会
 日本生化学会
 日本細胞生物学会
 日本循環器学会
 日本神経化学会
 日本会計研究学会
 日本畜産学会
 日本心理学会
 日本神経学会
 日本矯正歯科学会
 日本薬学会
 日本薬学会
 日本化学会
 日本化学会
 日本結晶学会
 日本口腔外科学会
 日本歯科放射線学会
 日本作物学会
 日本歯科審美学会
 日本歯科審美学会
 日本グループ・ダイナミックス学会
 化学工学会
 日本麻酔学会
 日本雑草学会
 日本消化器内視鏡学会
 日本神経回路学会
 日本救急医学会
 日本オペレーションズ・リサーチ学会
 日本物理学会
 日本育種学会
 日本生理学会
 日本家政学会
 日本家庭科教育学会

国際団体

アジア農業経済学会
アジア比較教育学会
アジア表面処理フォーラム
アジア品質管理シンポジウム
アジア平和研究協会
アジア流体力学会
オーストラリア経済学史学会
オーストラリア口腔顎顔面放射線学会
ユーロ・アジア物理学会
可視化情報に関する・アジア国際シンポジウム委員会
環太平洋科学史会議
環太平洋原子力協議会
環太平洋国際化学会議
国際顎咬合学会アジア部会
国際歯科補綴家会議アジア部会
国際東南アジア農学会
国際農村医学会アジア部会
政府間海洋学委員会／西太平洋事業
生物多様性西太平洋・アジア地域委員会
西太平洋化学療法学会
太平洋高分子連合
太平洋自動車会議
第10回環太平洋原子力会議
第14回国際地域学会・「環太平洋地域学大会機構」大会
東アジア科学史・技術史・医学史学会
東アジア生物物理学シンポジウム
東南アジア大学会計学教師会議
東南アジア理論物理学協会
放射光アジアフォーラム

対応団体

日本農業経営学会
日本比較教育学会
表面技術協会
日本品質管理学会

日本流体力学会

日本歯科放射線学会
日本物理学会
可視化情報学会

日本科学史学会
日本原子力学会
日本化学会
日本顎咬合学会
日本補綴歯科学会
日本海水学会

日本化学療法学会
高分子学会
自動車技術会
日本原子力学会
日本地域学会

日本科学史学会
日本生物物理学会
日本会計研究学会
日本物理学会
日本放射光学会

相手先がアジア・太平洋地域以外の団体(17団体)

国際団体名	対応団体名
European Organization for Nuclear Research	日本物理学会
アフリカ物理学者数学者協会	日本物理学会
ヨーロッパ会計学会	日本会計研究学会
ヨーロッパ共同体委員会第11理事会	
ヨーロッパ社会保障学会	社会政策学会
ヨーロッパ物理学会	日本物理学会
ヨーロッパ労働経済学会	社会政策学会
ラテンアメリカ物理学センター	日本物理学会
ラテンアメリカ物理学会連合	日本物理学会
欧州液体微粒化会議	
欧州植物育種学会	日本育種学会
欧州神経回路学会	日本神経回路学会
国際顎咬合学会ヨーロッパ部会	日本顎咬合学会
国際顎咬合学会ラテンアメリカ部会	日本顎咬合学会
第35回国際地域学会ヨーロッパ大会	日本地域学会
第42回国際地域学会北米大会	日本地域学会
中欧・東欧研究国際会議	ロシア・東欧学会